



about photos

- ① 旧友との再会に肩を抱き合う
- ② 恩師の森田英樹先生が門出を祝福
- ③ 恩師の言葉に目頭が熱くなることも
- ④ 集合して記念写真を撮影
- ⑤ 町長から記念品の手渡し
- ⑥ 懐かしい校歌を斉唱
- ⑦ 万歳三唱で新たな門出を祝す

新成人(20歳)の門出を祝う 令和6年 おおまち・はたちの集い

令和6年1月4日(木)

どこまでも澄み渡る青空の下、町公民館で「おおまち・はたちの集い」が行われました。会場には真新しいスーツや艶やかな振袖に身を包んだ新成人(20歳)が集い、再会を喜びながら旧交を深める姿が見受けられました。今回の特集では「おおまち・はたちの集い」の様子を紹介します。

はたちの集いとは？

令和4年4月1日の民法改正により、成人年齢が18歳に引き下げられましたが、町ではこれまでどおり20歳を迎えた皆さんを祝うこととし、名称を「はたちの集い」に変更しました。

はたちの節目を祝福

式では、水川町長をはじめ、恩師や来賓から祝福の言葉が贈られました。また、出席者を代表して楠本泰斗さんが「はたちを迎え、就職している人や学業を継続している人など立場は様々ですが、ひとりひとりが自分の行動に責任を持ち、社会の一員として常に闘志を持って前進する覚悟です。まだまだ未熟ではありますが、大人としての自覚を持ち歩んでいく決意を誓います。どうかこれからも温かい目でご指導ご鞭撻をお願いいたします」と謝辞を述べました。



▲謝辞を述べる楠本さん

その後、栗崎愛海さんと藤井颯人さんが、はたちになった自覚と抱負について、堂々と意見発表を行いました。立派に成長した姿に、会場内から惜しみない拍手が送られました。